

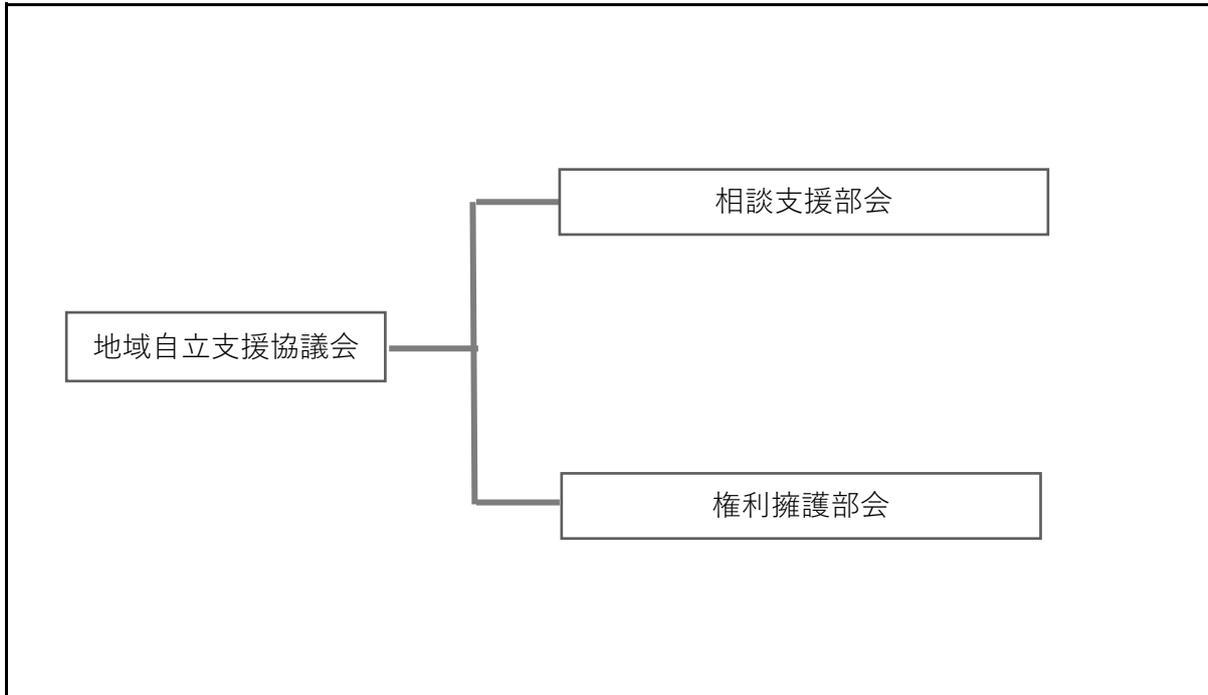
# 西東京市

## 1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 西東京市地域自立支援協議会

(2) ホームページURL [https://www.city.nishitokyo.lg.jp/siseizvoho/sesaku\\_keikaku/shingikaikaigiroku/hoken/chiiiki\\_iiritu/index.html](https://www.city.nishitokyo.lg.jp/siseizvoho/sesaku_keikaku/shingikaikaigiroku/hoken/chiiiki_iiritu/index.html)

(3) 組織図



## 2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	綿 祐二	日本福祉大学福祉経営学部 教授	学識経験者	
2		木下 大生	武蔵野大学人間科学部 教授	学識経験者	
3		平 雅夫	星槎大学共生科学部 非常勤講師	学識経験者	
4		横井 純子	東京都多摩小平保健所 保健対策課地域保健推進第一担当 統括課長代理	保健所	
5		山田 雄飛	医療法人社団薫風会 山田病院 院長	医療関係者	
6		今野 美穂	東京都立田無特別支援学校 副校長	教育関係機関	
7		山縣 弘典	西東京市教育委員会 教育部 教育指導課長	教育関係機関	
8		田中 めゆ	社会福祉法人さくらの園 就労支援センター・一歩 施設長	雇用関係機関	
9		渡辺 真也	特定非営利活動法人ハートフィールド たなし工房 施設長	障害福祉サービス等事業者	
10		綿谷 隆宣	特定非営利活動法人どろんこ会 どろんこ作業所 所長	障害福祉サービス等事業者	
11		天宮 真依子	一般社団法人ION 代表理事	障害福祉サービス等事業者	
12		高橋 加寿子	社会福祉法人田無の会 たんぼぼ 施設長	障害福祉サービス等事業者	
13	副会長	根本 尚之	西東京市障がい者福祉をすすめる会 会長	障害当事者・家族・関係団体	
14		麓 良久	西東京市民生委員児童委員協議会	障害当事者・家族・関係団体	
15		片寄 雄介	西東京市社会福祉協議会 福祉支援課 権利擁護係長 (あんしん西東京)	障害当事者・家族・関係団体	
16		山崎 政俊	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート	障害当事者・家族・関係団体	

## (2) 委員構成

種 別	全体会・部会名		
	全体会	相談支援部会	権利擁護部会
学識経験者	3	0	0
医療関係者	1	0	0
保健所	1	0	0
教育関係機関	2	0	0
雇用関係機関	1	0	0
企業	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	4	0	0
身体・知的障害者相談員	0	0	0
相談支援事業者	0	16	0
障害福祉サービス等事業者	4	0	4
社会福祉協議会	0	0	1
法曹関係者	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	1
地域住民	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0
行政職員(都)	0	0	0
その他	0	0	2
計	16	16	8

## 3 地域自立支援協議会の活動状況

## (1) 地域自立支援協議会での協議事項(複数回答)

## ① 相談支援事業の運営体制に関すること。

ケースワーカー制の導入について

## ⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

地域生活支援拠点等整備の取り組みについて

## ⑪ 障害福祉計画等に関すること。

次期西東京市障害福祉基本計画及び第7期西東京市障害福祉計画・第3期西東京市障害児福祉計画策定に向けた議題及び方向性について(報告)

## (2) 地域自立支援協議会としての役割(複数回答)

## ② 情報共有・情報発信

各事業所での取組み、講演会等について情報共有や情報交換を行い事業所同士が切磋琢磨することで、地域の支援力、支援体制の底上げをはかる役割を担っている。

## ③ 分野を越えてのネットワークの構築

高齢者福祉関係事業所との情報交換やケース検討を通じ、顔が見える関係づくりに関する検討等

## ④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

介護保険サービスへのスムーズな移行に関する検討等

## ⑤ 地域課題の整理

部会等での協議による課題の明確化、改善策の検討等

⑥ 課題解決に向けての検討

各事業所が感じている困りごと等から地域課題の抽出と解決に向けた具体的取組の検討

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

地域の相談支援体制の底上げを目指した、研修体系について検討を行い、次年度より具体的に実施していく。

⑩ 権利擁護・虐待防止

子ども家庭支援センターと高齢者支援課とともに普及啓発（市報掲載等）を実施

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

ケースワーカー制の導入により、各地区に地区割担当を配置することで、支援を必要とする方への相談員を固定化し、切れ目のない伴走型の支援体制を構築した。

② 社会資源の開発及び改善

地域生活支援拠点等事業を令和3年度から実施し、緊急時の受入・対応の機能として居室を確保するとともに、体験の機会・場の提供の機能として自立に向けた体験入所を実施している。令和4年度からは専門的人材の確保・養成の機能として、専門的な研修を実施している。

⑧ 障害児支援

子どもの発達に関するニーズに対応するため、令和4年4月にこどもの発達センターひいらぎを児童発達支援センターとして整備した。

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域移行・地域生活支援を進めるための社会資源

(1) 当事者の声や願いと有効な社会資源

地域移行・地域生活支援を進める際の当事者の声や願い（複数回答）	願いをかなえるために有効な社会資源（複数回答）																	
	地域生活支援拠点等	基幹相談支援センター	相談支援事業所	自立生活援助事業所	就労移行支援事業所	就労定着支援事業所	グループホーム	地域活動支援センター	地域移行支援事業所	地域定着支援事業所	日中活動の場	訪問系サービス	短期入所事業	医療機関	ピアサポート	不動産事業者（※）	有効な社会資源はない。	その他
①入所施設から退所して、地域で暮らしたい。		○	○				○	○	○									
②精神科病院から退院したい。		○	○				○		○		○	○	○	○	○			
③困ったときに気軽に相談できるところがほしい。		○	○				○							○	○			

地域移行・地域生活支援を進める際の当事者の声や願い（複数回答）	願いをかなえるために有効な社会資源（複数回答）														有効な社会資源はない。	その他		
	地域生活支援拠点等	基幹相談支援センター	相談支援事業所	自立生活援助事業所	就労移行支援事業所	就労定着支援事業所	グループホーム	地域活動支援センター	地域移行支援事業所	地域定着支援事業所	日中活動の場	訪問系サービス	短期入所事業	医療機関			ピアサポート	不動産事業者（※）
④情報不足やわかりにくいときに、手助けしてくれるところがほしい。		○	○					○						○				
⑤地域で生活することに関して、いろいろな選択肢を知りたい。		○	○					○						○				
⑥地域生活を始めるにあたっての不安を解消してくれたり、自信を取り戻すことに力になってくれたりする人がいてほしい。		○	○					○										
⑦地域移行に向けて「体験の場」がほしい。						○												
⑧一人暮らしをするための物件探しが難しいので、相談にのってほしい。																○		
⑨地域移行から定着までを通して支援する仕組みがほしい。			○			○		○	○									
⑩親亡き後の生活が心配なので、相談にのってもらえるところがほしい。	○	○	○													○		
⑪訪問診療や介護を利用したい。			○								○		○					
⑫災害が起こったらどうすればよいか不安なので、相談にのってほしい。		○														○		
⑬余暇やスポーツ活動を楽しみたい。																○		
⑭その他																		
合計	1	8	9	0	0	0	5	1	6	1	1	2	1	3	4	0	0	4

※障害者が一人暮らしできる住居を探してくれる不動産事業者

その他の具体的な内容（有効な社会資源）

- ⑧市住宅課
- ⑪社会福祉協議会にて日常生活支援事業や成年後見制度の利用の相談等
- ⑫市危機管理課
- ⑬地域の青年学級等